

その他の鉄鋼業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	16~17	第一工場のガス切り場で、酸素解体作業をしている時、円柱のタンク（高さ2m、重量500kg）を半分に切ったところ、切った部分が転がってぶつかってしまい、骨盤を座骨骨折した。	30	10~29
5	10~11	熱処理工場建屋南のテントハウス前で、ステム巻き亜鉛メッキ線を吊ったバッテリー式リーチ（2.1t）をバック運転した時、停車していたフォークリフトのフォーク（一本角）先端に左足膝裏下が突き当たり負傷した。	66	100~299
6	9~10	取引先敷地内においての被災である。スクラップ積み込み作業中、機械のスクラップを同僚が運転するユニック車で掴み損ね、スクラップが揺れて転倒し、機械スクラップ付近で仕分け作業中の被災者の右足甲の上に触れ、打撲した。	42	100~299
6	11~12	検査工場芯出し定盤上で、鋳鋼製品（約3t）をクレーンで90度立てる作業を行っていて、製品が起き上がった瞬間、製品が枕木からずり落ち、バランスを崩すと同時に玉掛けチェーンも外れてしまい、倒れてきた製品に右足指を挟まれた。	27	100~299
7	16~17	当社工場にてトラックに積んであるスクラップの荷降ろしのため、ワイヤーを外そうと荷締機（ガッチャ）を緩めて手を放した時緩んだ反動で荷締機が自身の顔の方向へ向かってきて右目に当たり、負傷した。	36	10~29
12	0~1	当社の家電ヤード内で、トラック（10tアオリ車）から荷物を降ろそうと、アオリを開けた際、アオリが体に当たり、そのまま地面に倒れ、地面で頭を打ち負傷した。	26	30~49

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)